

整備事業
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(秋田県 平成25年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率			計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
秋田市	新あきた農業協同組合	土地利用型作物(稲)	事業実施地区における一等米比率を事業実施年度の前7中5平均の値と比べて14.1ポイント向上	75.9%		99.7%	96.2%	90.0%	144.0%	施設導入により、事業実施地区の1等米比率は96.2%と事業実施前に比べて20.3ポイント向上し、目標を6.2ポイント上回った。	土地利用型作物(稲)	事業実施地区における高温耐性を有する品種の作付割合を5.0ポイント向上	2.35%		2.59%	2.87%	7.35%	10.4%	高温耐性品種の作付割合は、「ひとめぼれ」への作付誘導を図った結果、わずかに増加傾向にあるが、収量性などの面から伸び悩んでおり、目標達成には至らなかった。 ・ひとめぼれ作付面積17.5ha ・25年度米作付面積610.4ha	品質向上 物流合理化施設 処理量:3,000t	162,472,800	77,368,000		25,789,000	59,315,800	H24.9.11	事業実施地区は、当JA管内において1等米比率が常に低い地域であったが、施設整備により1等米比率が大幅に向上し、当JA管内で最も高い地区となった。高温耐性品種の作付については目標を達成できなかったが、目標達成に向けて、引き続き、高温障害回避による品質向上効果などのメリットの周知、展示ほ設置による栽培技術の普及により、法人や担い手等大規模農家への作付誘導を指導する。	一等米比率の向上については目標を達成し、事業効果が現れている。高温耐性品種の作付割合については目標を達成できなかったが、目標達成に向けて、引き続き、高温障害回避による品質向上効果などのメリットの周知、展示ほ設置による栽培技術の普及により、法人や担い手等大規模農家への作付誘導を指導する。	